

教科名		芸 術 科	科 目 名	音 楽
対象学年		中学 1 年	コース・選択等	——
単位数		1.5単位	教科書 (出版社)	中学音楽 1 (教育出版) 中学器楽 (教育出版)
使用教材		中学音楽 1 ……教育出版 中学器楽 ……教育出版 ザ・楽典 ……ヤマハ出版		
学習のねらい		表現：正しい呼吸法、発声で曲想を感じとり、明るく楽しく歌唱する。 楽器の基礎的な奏法で、美しい音色を工夫し演奏する。 鑑賞：文化、歴史等との関わりを理解し、感じ取る。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学期・ 月等	単 元
	4 月	音 発声・腹式呼吸 校歌・譜表・ト音記号	11月	音 合唱練習 鑑賞「メサイア」
		器 楽器概説 ヴァイオリン構え・ピチカート		器 ヴァイオリン イ長調の音階
	5 月	音 音名・階名 「夏の思い出」	12月	音 クリスマスキャロル
		器 ヴァイオリン 弓の持ち方・開放弦		器 ヴァイオリン 音階
	6 月	音 音符・休符 鑑賞「魔王」	1 月	音 楽典 1 年のまとめ 合唱コンクール 準備 合唱練習
		器 ヴァイオリン 開放弦・全弓・半弓・リズムアンサンブル		器 ヴァイオリン二重奏 1 学期の復習 ・開放弦・運弓
	7 月	音 発想・速度記号	2 月	音 「マイ・バラード」 合唱コンクール
		器 ヴァイオリン 運弓・開放弦		器 ヴァイオリン二重奏
	9 月	音 強弱・反復記号 合唱練習	3 月	音 卒業式の歌 鑑賞「春」
		器 ヴァイオリン 1 学期の復習		器 ヴァイオリンまとめ
	10月	音 拍子 鑑賞「春」		
		器 ヴァイオリン 音階		

教科名		芸 術 科	科 目 名	音 楽
対象学年		中学 2 年	コース・選択等	——
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	中学音楽 2・3 上 (教育出版) 中学器楽 (教育出版)
使用教材		中学音楽 2・3 上……教育出版 中学器楽……教育出版 ザ・楽典……ヤマハ出版		
学習のねらい		表現：言葉、歌詞の内容、曲想などを感じとり歌唱する。 速度、強弱、音色、リズム、旋律、和声などの関わり合い、形式などの働きを感じ取り表現する。 鑑賞：演奏形態、作曲形式や、諸民族音楽の特徴や多様性などを、感じ取る。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学期・ 月等	単 元
	4 月	音 楽典 1 年の復習 「花の街」	11 月	音 音程 2・3 度 合唱練習
		器 ヴァイオリン 1 年の復習		器 ヴァイオリン ハ長調の音階 「エーデルワイス」
	5 月	音 音階 「浜辺の歌」	12 月	音 クリスマスキャロル 転回音程 6・7 度
		器 ヴァイオリン イ長調の音階 ニ長調の音階		器 ヴァイオリン 「エーデルワイス」 スラーをつけて弾く
	6 月	音 長音階・調号 「アメージンググレイス」	1 月	音 楽典 2 年のまとめ 合唱コンクール 準備 合唱練習
		器 ヴァイオリン 「きらきら星」(前半)		器 「エーデルワイス」 音色をつけて弾く
	7 月	音 長音階のまとめ	2 月	音 「この星に生まれて」 合唱コンクール
		器 ヴァイオリン 「きらきら星」(後半)		器 和楽器「篠笛」 ハ音記号 音階 1 学期の復習
	9 月	音 半音階 讃美歌重唱	3 月	音 卒業式の歌
		器 ヴァイオリン 「メヌエット」		器 ヴァイオリン 2 学期の復習
	10 月	音 音程 1・4・5・8 度 合唱練習		
		器 ヴァイオリン 「メヌエット」		

教科名		芸 術 科	科 目 名	音 楽
対象学年		中学 3 年	コース・選択等	——
単位数		1 単位	教科書 (出版社)	中学音楽 2・3 下 (教育出版)
使用教材		中学音楽 2・3 下……教育出版 ザ・楽典……………ヤマハ出版		
学習のねらい		表現：曲種に対応した発声で歌唱する。 各声部の役割や、全体の響きに気を付けて合唱する。 自由なイメージや曲想、発想のもとに創作する。 鑑賞：速度、強弱、声、リズム、旋律、和声、形式等の雰囲気や特徴を感じ取る。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学期・ 月等	単 元
	4 月	楽典 2 年の復習 「花」	11 月	「涙・そうそう」 鑑賞「アイーダ」
	5 月	調号 「浜辺の歌」 鑑賞「アランフェス」	12 月	クリスマスキャロル
	6 月	短音階・調号 関係調 「帰れソレントへ」 鑑賞「羽衣」	1 月	合唱コンクール 準備
	7 月	三和音 鑑賞「青少年のための管弦楽入門」	2 月	合唱コンクール
	9 月	短音階 鑑賞「ボレロ」	3 月	卒業式の歌
	10 月	「荒城の月」 コードネーム		

教科名		芸 術 科		科 目 名		美 術	
対象学年		中学 1 年		コース・選択等		――	
単位数		1.5単位		教 科 書 (出版社)		美術 I（日文）	
使用教材		プリント教材					
学習の ねらい		感性や想像力を働かせて、自然や身近なものを観察しよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりして豊かに発想し構想する能力を身に付け、形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想をする。					
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元		学期・ 月等	単 元		
	4 月	絵画 気持ちを表す自画像		11月	〃		
	5 月	〃		12月	彫塑 動物をつくろう		
	6 月	デザイン シンボルマーク		1 月	〃		
	7 月	〃		2 月	〃		
	9 月	色彩 色の特徴		3 月	〃		
	10月	絵画 身近なものを描く					
学習の 留意点・ 評価など		制作過程や表現の工夫を重視し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」の観点から、作品および振り返りを通して総合的に評価する。					

教科名		芸 術 科	科 目 名	美 術
対象学年		中学 2 年	コース・選択等	——
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	美術Ⅱ・Ⅲ上（日文）
使用教材		プリント教材		
学習のねらい		感性や想像力を働かせて、自然や身近なものを観察しよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりして豊かに発想し構想する能力を身に付け、形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想をする。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	学期・ 月等	単 元
	4 月	工芸 学校らしさを光と色で表す ステンドグラス	11月	〃
	5 月	〃	12月	絵画・デザイン 新入生に学校生活の文化や ルールを伝えるポスター
	6 月	〃	1 月	〃
	7 月	デザイン ことばをデザインする	2 月	〃
	9 月	〃	3 月	〃
	10月	〃		
学習の 留意点・ 評価など		制作過程や表現の工夫を重視し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」の観点から、作品および振り返りを通して総合的に評価する。		

教科名		芸 術 科	科 目 名	美 術
対象学年		中学 3 年	コース・選択等	——
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	美術Ⅱ・Ⅲ下（日文）
使用教材		プリント教材		
学習のねらい		感性や想像力を働かせて、自然や身近なものを観察しよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりして豊かに発想し構想する能力を身に付け、形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想をする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単 元	学期・月等	単 元
	4 月	工芸 学習を楽しく！困ったを解決！ するガチャガチャ	11月	〃
	5 月	〃	12月	絵画 わたしを見つめて
	6 月	〃	1 月	〃
	7 月	デザイン 相手を考えたデジタルデザイン	2 月	〃
	9 月	〃	3 月	〃
	10月	〃		
学習の留意点・評価など		制作過程や表現の工夫を重視し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」の観点から、作品および振り返りを通して総合的に評価する。		

教科名		芸 術 科	科 目 名	音 楽 I
対象学年		高校1年	コース・選択等	必 修
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	高校生の音楽（教育芸術社）
使用教材		讃美歌21		
学習の ねらい		多くの讃美歌を知ることにより、日々の礼拝を充実したものにする。 日本歌曲を歌うことにより、日本における西洋音楽への理解を深める。 西洋の音楽史における各時代の様式、代表的な作曲家を学び、教養を広める。 中学で学習した楽典の知識をさらに深める。 讃美歌コンクールへの参加によって、合唱の楽しさを感じ、クラスの団結を深める。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	1 学期	讃美歌：（504、60、419、464、515、「ちいさなかごに」他） 音楽史：キリスト教の成立時～ルネサンス時代 楽 典：音名、階名 讃美歌コンクール	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする 初期の西洋音楽の成り立ちを知る 楽譜を正しく読めるようにする 讃美歌を合唱し、クラスの団結を深める	
	2 学期	讃美歌：（536、453、10、271、「うるわしのしらゆり」クリスマスの讃美歌 他） 音楽史：バロック時代 ヴィヴァルディ バッハ ヘンデル 楽 典：音符、拍子 日本歌曲：「この道」	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする バロック時代の音楽を知り、メサイア演奏会への理解を深める 音符と拍子の関係を理解する 日本語の歌曲を正しく歌う	
	3 学期	讃美歌：（461、51、288、 他） 音楽史：古典主義の時代 ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン 楽 典：長音階 日本歌曲：「翼をください」	月間讃美歌をしっかりと歌えるようにする 古典主義の音楽の特徴を理解する 長調の音階について理解する フォークソングの古典に触れる	
学習の 留意点・ 評価など		歌をよりうまく歌えるように努力しているか。 教材に興味を持って楽曲鑑賞ができているか。 音楽史について理解ができているか。 楽典を正しく理解できているか 讃美歌コンクールや実技テストに真剣に取り組んでいるか。		

教科名	芸術科	科目名	音楽Ⅰ
対象学年	高校2年	コース・選択等	必修
単位数	1単位	教科書 (出版社)	高校生の音楽Ⅰ（教育芸術社）
使用教材	讃美歌21		
学習のねらい	多くの讃美歌を知ることにより、日々の礼拝を充実したものにする。 ドイツ語の歌曲を歌い、西洋の歌曲への理解を深める。 ロマン主義時代の代表的な作曲家の生い立ちと作品を学ぶ。 讃美歌コンクール参加により、合唱の楽しさを知り、クラスの団結を深める。 1年生で学習した音楽理論の学びを進める。		
学習内容 と流れ	学期・ 月等	単元	ねらい
	1学期	讃美歌：(504、60、419、464、515、「ちいさなごに」他) 楽典：短音階 音楽史：ロマン主義の時代初期 シューベルト、リスト、ショパン 讃美歌コンクール	讃美歌をしっかりと歌えるようにする 短音階のしくみを理解する 古典派の代表的な作曲家2名について理解する ロマン主義の音楽とそれ以前の音楽の違いを知る 讃美歌コンクール参加により、合唱の楽しさを知り、クラスの団結を深める。
	2学期	讃美歌：(536、453、10、271、「うるわしのしらゆり」、クリスマス讃美歌 他) 楽典：関係調 音楽史：ロマン主義の時代盛期 シューマン、ブラームス 歌唱：Heidenröslein	讃美歌をしっかりと歌えるようにする 関係調について理解する 盛期ロマン派の作品を多く鑑賞する ドイツ歌曲を原語で歌う
	3学期	讃美歌：(461、51、288、 他) 楽典：音程 音楽史：ロマン主義の時代後期 イタリア・フランス・ドイツのオペラ 合唱曲：An die Freude (Beethoven)	讃美歌をしっかりと歌えるようにする 複雑な音程を理解する 後期ロマン派の特徴を知る 極めて有名なオペラを鑑賞する ベートーヴェン第9の合唱部分を歌う
学習の留意点・評価など		歌をよりうまく歌えるように努力しているか。 教材に興味を持って楽曲鑑賞ができているか。 音楽史、音楽理論について理解ができているか。 讃美歌コンクールや実技テストに真剣に取り組んでいるか。	

教科名		芸 術 科	科 目 名	美 術 I
対象学年		高校 2 年	コース・選択等	コース I （2 選 2）
単位数		2 単位	教 科 書 （出版社）	美術 I （日文）
使用教材		スクラッチボード、ニードル、水彩絵具、和紙等		
学習の ねらい		美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
	4 月	平面構成 （立体的に画面を構成する）	・ 立体的感覚で発想できること。 色彩を有効に生かすことを考える。	立体感が表現 できたか。
	5 月	〃		
	6 月	〃		
	7 月	スクラッチボードに描く （人物・静物など）	・ ニードルによって制作する ・ 黒地に白い線や面で表現するのだが その効果を考えて制作する。	素材の特性が 生かされたか。
	9 月	〃		
	10月	クリスマスカード	・ クリスマスカードにふさわしい 内容のものを制作する。	クリスマスを 表現できたか。
	11月	〃		
	12月	模写	・ 対象の表現方法や材料・技法の 生かし方などに創意や工夫をする。	元の絵を正確に 表現できたか。
	1 月	〃		
	2 月	はり絵	・ 主題を明確にし、表現方法を 工夫した内容のものを制作する	素材の特性を生かし 細かく表現できたか
	3 月	〃		
学習の 留意点・ 評価など		・ 図法や色彩について理解し、立体感のある平面構成に応用することができたか。 ・ 材料や用具の特性を生かしし表現できたか ・ 主題を明確にして表現方法を工夫して表現することができたか。		

教科名		芸術科	科目名	音楽Ⅱ
対象学年		高校3年	コース・選択等	コースⅠ 選択A2
単位数		2単位	教科書 (出版社)	高校生の音楽Ⅱ（教育芸術社）
使用教材		讃美歌21		
学習のねらい		1・2年生で学んだ楽典等、音楽の基礎になる知識を確認する。 独唱曲を用いて、歌唱力の向上をはかる。 合唱を通してハーモニー感を養い、他人と共鳴しあう楽しさを味わう。 創作の楽しさを味わう より広い分野の楽曲の鑑賞により、音楽的視野を広げる。 日本の伝統芸能に対する理解を深める。		
学習 内容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	1 学期	独唱 「Sehensucht nach Fruhlunge」 「Vaga Luna」 音楽史：国民楽派 オペラ鑑賞 「道化師」「ラ・ボエム」 楽典：音程	ドイツ語、イタリア語の芸術歌曲にふれる 近現代音楽を知る ペリヅモオペラの代表作を鑑賞する 音程について理解する	
	2 学期	合唱 「Amazing grace」「つぶてソング」 オペレッタ鑑賞 「こうもり」「メリー・ウイドウ」 グループ創作 楽典：コードネーム	合唱の楽しさを知る コードネームを理解する 身近な物を使って音楽を創造する楽しさを味わう オペレッタの代表作を鑑賞する	
	3 学期	DVD 「日本の伝統芸能」鑑賞 雅楽、能、文楽、歌舞伎 調べ学習とプレゼンテーション	日本の伝統芸能について理解する	
学習の留意点・評価など		歌をよりうまく歌えるように努力しているか。 教材に興味を持って楽曲鑑賞ができているか。 楽典について理解できているか。 クラスメートと協力し合って、創作や調べ学習を行っているか。 授業内容や実技テストに真剣に取り組んでいるか。		